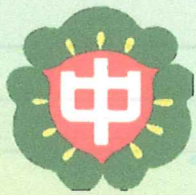


学校教育目標 「心豊かな中学生」「自ら学ぶ中学生」「活力あふれる中学生」



常盤のみどり

第447号 令和2年 10月30日(金)

さいたま市立常盤中学校

〒330-0075

さいたま市浦和区針ヶ谷4-1-9

TEL 048-831-3189

FAX 048-830-1561

E-mail:tokiwa-j@saitama-city.ed.jp



プランターからあふれ出して咲き誇るマリーゴールド。花の生命力を感じずにはられません。

ちなみに花言葉は「変わらぬ愛」

みんなの心に輝く学校



SINCE 1947

教頭 越智 宏明

昨年10月12日に関東地方を直撃した台風19号は、各地に甚大な被害をもたらしました。栃木県佐野市北部にある全校生徒40名の佐野市立常盤中学校も大きな被害を受けました。校舎こそ難を逃れたものの、学区内の至るところで土砂崩れや橋の崩落などが発生し、復旧作業はあれから1年以上経った今でも続いています。

この話を聞いた本校の生徒たちは、同じ名前の「常盤中」を支援したいと、生徒会を中心に、メッセージ入りの千羽鶴の作成を呼びかけ、「佐野市立常盤中学校応援プロジェクト」を立ち上げました。これがきっかけとなり、両校の関係は「支援から交流へ」と変化し、「虹のプロジェクト」と名前を変えたのです。雨上がりに現れる光の奇跡(軌跡)のように、「同名校」という縁でつながった二校が、いつまでも輝かしい関係でつながっていられるようにとの願いがこめられています。

今年2月18日に佐野市立常盤中学校の全校生徒が本校を訪れ、初めて二つの「常盤中学校」による交流会が行われました。一緒に給食を食べたり、ゲームをしたり、お互いの学校の校歌を披露したり、コロナ禍前最後の楽しい思い出となった気がします。

しかし、そのコロナ禍の影響で、今年度予定されていた両校の交流は、ことごとく中止となってしまいました。このような状況下でも何かできないか、佐野市の方とも相談しているところですが、皆さんからも良いアイデアがあれば、是非お聞かせください。

そんな中、佐野常盤中の校長先生が右のようなポスターを贈ってくださいました。校舎の前で笑顔を見せる生徒の上に書かれているスローガン「みんなの心に輝く学校～常盤PRIDE～」。

実は、佐野市立常盤中学校は、少子化の影響で、令和4年度をもって閉校になることが決定しています。自分の母校が無くなってしまうというのは、どのような気持ちでしょうか? 「心に輝く」という言葉は、佐野常盤中学校を、永遠に卒業生たちの心の記念碑として輝かせるという誓いのようにも読み取れます。閉校のその日まで笑顔を忘れず母校への愛情をもち続ける…、これこそが本当の「常盤PRIDE」だと思えます。全校生徒839名の本校の生徒たちにとっても、さいたま市立常盤中学校がいつまでも「みんなの心に輝く学校」であってほしいと切に願います。

残り3年、佐野常盤中とは最後まで交流を続けます!



このポスターは、2階渡り廊下「友情の通り道」に展示されています。